



お手玉を使ったレクリエーション講座を受けるボランティアたち

## ボランティア養成に お手玉使って講座 高齢者集うサロン充実へ

那珂川町社協

祉センターで開かれ「福岡お手玉の会」の春田智明会長が、約三十人にお手玉を使ったコミュニケーションの取り方や楽しみ方を教えた。

同町内では月一回、十カ所の公民館で一人暮らしの高齢者や育児中の親が集まってレクリエーションを楽しむサロンが開かれている。今回の講座は、サロンで活動するボランティアたちを養成しようとする町社会福祉協議会が実施した。

春田会長は、集中心が必要で両手を使うお手玉に痲痺の予防効果があることを説明。子どもから高齢者までたれでも楽しめるお手玉を通して、笑顔や達成感、存在感を与えるコツを実演しながら伝授した。

ボランティアを始めて三年目の主婦菅美都子さん（58）同町松木は「失敗しても笑ってこまかせるお手玉はサロンにぴったり。私自身が楽しめる」と話した。

また、乳幼児も高齢者も一緒に楽しむ体操を広めている「TAMA元気ピクス工房」の太刀山美樹代表の講座もあった。

ボランティア向けのレクリエーション講座が十日、那珂川町西隈の町福